

その他購入文書

その他購入文書解題

この文書群は、昭和四十九年（一九七四）、長野市教育委員会が古書店より購入したものである。その後、博物館開館と同時に当館へ移管された。

整理にあたっては、地域、人名をもとに小項目をたてた。総数は二三件、五九点。

この文書群のうち注目すべきものは、「春原織衛」、および、「春原織右衛門」の関係文書が含まれていることである。このうち、後者に関しては、『真田家家中明細書』にその名がある。また、ここに含まれる文書と比較対照すると次のようになる。「（ ）内は、この文書からわかる内容・それ以外は、『真田家家中明細書』による」

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 天保 六年一月 三日 | 家督 |
| 一二月一六日 | 御番人 |
| 一一年 八月二七日 | 定火消 |
| (天保十四年 三月 九日 | 麻疹流行のおり骨折りにつき報償として酒を送られる) |
| 弘化 二年二月二一日 | 若殿様御近習役 |
| 嘉永 七年 五月二八日 | 磯喜から織右衛門と改名 |
| 五月二九日 | 出府 |
| 七月二三日 | 出府のため青銅五〇〇疋を与えられる |
| 一〇月二五日 | 御側御右筆御近習役兼帯 |
| 安政 五年一〇月二〇日 | 御役替御持筒頭御側御右筆兼帯 |
| 六年 五月二五日 | 御役替御側御右筆工帰役、御側役席 |
| 文久 元年一〇月一六日 | 御役替御普請奉行 |
| (文久 二年二月二七日 | 幸隆様ご逝去の際骨折りにつき帷子をたまわる) |
| (文久 三年 一月二一日 | 学校槍術教授方に任せられる) |
| (同 三年 六月 | 真田御陣家へ臨時出御陣場奉行・兵糧奉行に任せられる) |
| 九月二三日 | 御役替御宮奉行 |

慶応	元年一月九日	御役替足輕奉行御普請奉行兼帯
(同)	二年六月一日	定松院様入府のおり骨折りにつき青銅三〇〇疋をたまわる)
(同)	二年六月一七日	御落城御留守中に骨折りにつき袴をたまわる)
同	四年正月二四日	御役替御物頭足輕奉行御普請奉行兼帯
明治	二年二月三〇日	御賞典二〇石
同	三年八月一八日	銃兵副隊長補兵小隊長兼勤
同	四年八月四日	依願免職

このようにみると、両者の資料には何らのダブリも生じていない。この点をどう解釈すべきかは問題である。もともと、春原織右衛門なる人物が、『真田家中明細書』に記載されている人物とは別人という可能性もなきにしもあらずである。また、これから『真田家中明細書』の史料的制約や、ましてその価値評価までは論じるべきではなく、こうした類例にあたりながら考えていくことも重要であろう。

その他購入文書目録(五五・C・一)

番号	年月日	表題(内容)	差出人	受取人	形態	数量
(小島田村関係)						
六	明和五年	(宗門改帳)	小島田村上組長沢伊右衛門		縦帳	一
四	天保五年一月	卯有地御改惣治郎分御水帳			縦帳	一
二	天保一一年三月	五人組御改御書上下帳	小島田村上組名主彦九郎	職御奉行所	縦帳	一
七	安政四年一二月	頼母鋪無尽帳	伊兵衛		縦帳	一
五	元治二年二月	宗門人別御書上下帳	小島田村上組		縦帳	一
八	元治二年二月	五人組軒別御書上下帳			縦帳	一
(大塚村関係)						
一	万延二年二月	(牛馬・奉公人・職人の改帳)	大塚村西組 名主政右衛門ほか		縦帳	一
一二	文久三年八月	(改元などについての廻状)	(大塚村北島組役元ほか)	連蔵ほか	状	一
(三水今泉村関係)						
一五	嘉永六年八月	(水車建設願い)	三水今泉村名主林左衛門ほか	道橋御奉行所	状	一
一七	文政一一年一月	(名主ほか交替につき届出)	三水今泉村名主平左衛門ほか	御奉行所	状	一
一三	欠	(たよ縁組につき引取証文)	八幡村	三水今泉村御役人	状	一
(春原織衛資料)						
二二一	享保二〇年一二月	(名改めの許可)		春原織衛	状	一
二二二	享保二一年三月一日	(豊之助様御近習に任ず)		春原織衛	状	一
二二三	延享五年四月二六日	(引越しの許可)	原小隼人	春原織衛	状	一
二二四	宝暦九年四月一八日	(登城の呼び出し)	柵津大炊	春原織衛	状	一

二二一五	宝曆九年四月一九日	(目付役に任ず)		春原織衛	状
二二一六	宝曆九年十一月二日	(御役付き足輕五人を許可)		春原織衛	状
二二一七	明和三年五月一日	(養子縁組の許可)		春原織衛	状
二二一八	明和三年八月四日	(倅・惣太郎の御目見許可)		春原織衛	状
二二一九	明和三年九月二七日	(検見につき登城願い)	柅津大炊	春原織衛	状
二二二〇	明和三年十一月六日	(倅・惣太郎を儀右衛門と改名許可)	恩田新六	春原織衛	状
二二二一	明和三年二月一日	(普請奉行に任ず)		春原織衛	状
二二二二	明和三年二月一日	(御役付き足輕十人を付す)		春原織衛	状
二二二三	明和三年二月一日	(評定所への呼び出し)		春原織衛	状
二二二四	明和三年二月二七日	(竹内金左衛門普代諸番を任ず)		春原織衛	状
二二二五	明和五年六月三日	(儀右衛門の婚姻許可)		春原織衛	状
二二二六	明和七年九月一日	(中原新藏御仕置きにつき)	鎌原司馬	春原織衛	状
二二二七	明和七年九月一日	(中原御仕置きの際無罪に付申し付け事項)	鎌原司馬	春原織衛	状
二二二八	明和八年八月二八日	(数寄屋橋御奥様お守りのため出府命令)		春原織衛	状
二二二九	明和九年七月一九日	(南部坂御屋敷へ御呼び出し)	矢沢将監	春原織衛	状
二二三〇	明和九年七月一九日	(来年まで滞府命令)		春原織衛	状
二二三一	明和九年七月一九日	(滞府のため十兩を与える)		春原織衛	状
二二三二	三月一七日	(御家中武芸稽古之儀改袷合に任ず)		春原織衛	状
二二三三	一〇月九日	(御掘土手改に任ず)		春原織衛	状
二二三四	九月一日	(小河原村検地御用勤に任ず)		春原織衛	状
二二三五	五月一〇日	(私宅への呼び出し)	柅津治部左衛門	春原織衛	状
二二三六	八月一七日	(私宅への呼び出し)	柅津数馬	春原織衛	状
二二三七	九月三〇日	(御出府御目見につき)	矢沢将監	春原織衛	状
二二三八	九月二八日	(春原織衛御役替えにつき)	矢沢将監	春原織衛	状
二二三九		(起請文前書之事)	柅津小膳	春原織衛	状
二二四〇		(小端村千本柳村検地につき)	春原儀右衛門	春原織衛	状

春原織衛・緑川糸右衛門

(春原織右衛門資料)

番号 年月日

表題(内容)

差出人

受取人

形態 数量

二三一 天保一四年三月九日 (麻疹流行のおり骨折りにつき酒を与える)

二三二 嘉永七年五月二九日 (出府につき)

二三三 嘉永七年七月二三日 (江戸出立につき青銅五百疋を与える)

二三四 文久二年二月二八日 (幸隆院様御卒去の際骨折りにつき帷子を与える)

二三五 文久三年一月二一日 (学校槍術教授方に任ず)

二三六 文久三年三月六日 (真田御陣家へ臨時出御陣場奉行・兵糧奉行に任ず)

二三七 慶応二年六月一日 (貞松院様入府のおり骨折りにつき青銅三百疋を与える)

二三八 慶応二年六月一七日 (御上洛御留守中に骨折りにつき袴を与える)

(受入先不明)

一一 明和四年七月二六日 (法印の免許状)

二〇 文化一一年七月 (さぬ縁組につき村送り状)

三 文政二年 (松代藩士分限帳)

一四 天保七年二月 (留吉縁組につき寺送り証文)

二一 天保一二年二月 (三ヶ村の村定め議定書)

一六 文久四年 (りと縁組につき村送り状)

一九 明治二年二月 (離縁立戻り一札之事(雛型))

一八 明治七年五月一〇月 (地所売渡証文)

一〇 大正一五年測量 (長野都市計画地域図(二万分一) 世界新地図)

春原磯喜 状 一

春原織右衛門 状 一

越道村 観善寺 状 一

南牧村御役人 状 一

同村天宗寺 横帳 一

宮平組高厳寺 状 一

野平新田ほか三カ村 御役人 状 一

原村名主吉左衛門 宮野尾村御役人 状 一

野平新田村勝野善吉ほか 佐藤藤三郎 状 一

縦帳 一

地図 一